

郵送等によりいただいたご意見（3件）

■6月13日郵送にていただいたご意見

“桜木の現状”

S27・4月の鳥取火災からの復興事業の一環から、焼け残った桜木の環境整備の為、S41年頃には、袋川の土手沿いに桜木の植樹作業が行われていましたが、その作業を偶然見ていると、桜木（苗木）の高さ1.5メートルから2.0メートル位、太さ2～3センチ位の苗木を3名の作業員が50～60センチの穴を手作業で掘り、植樹されていた光景を見ていた思い出があります。

2本の細い苗木を抱き合わせて埋めていた理由は解りませんが、不思議に思いました。

それから50年以上経過した現在、立派な大木になり春季には、市民の眼抱擁と散歩コースになって居ります。

しかし、現状は40cm～60cm位の幹になり、枝の重さと根っこの浅さから簡易舗装を持ち上げて、歩行者の危険性を増幅させて居ります。特に左岸は桜木は少ないですが、歩道幅が狭い為、極めて危険です。

“危険性”

現在の高齢者社会にあって、小さな樹の根っこに、歩行者が足の履き物を引っ掛けて転けたり、骨折・捻挫等の事故が発生すれば、賠償問題に発展しかねません。特に高・中・小の通学路、幼稚園の散歩コースになっているような箇所では事故発生があれば、責任問題になることは必至です。

“対応策”

危険性が高い古木は、事前に明示する等は当然の事であり、伐採はやむを得ない行為だと考えます。

又、伐採に反対する方々、団体等に対しては、「人間の生命は、桜木より重い」事を周知し、“安全性第一”を考える行政の取組みとして理解を求める事は大切です。

■7月3日窓口にて提出いただいたご意見

1、緑地にある植樹の管理

緑地にある植樹の管理は、目標に向かって苗木を育てる育成段階と、目標に到達してからはその植樹の状態を維持する段階、目標としていた植樹の状態が環境に適さなくなると、植樹（緑地）のあり方を見直す段階に分けられます。育成段階から維持段階への移行は植樹後30年程度、植樹（緑地）のあり方を見直す段階は植樹後50年程度になることが多いようです。

2、袋川緑地サクラ並木の生育経過

袋川緑地のサクラ並木はほぼソメイヨシノで構成されていて、植樹後60年余りが経

過しています。その経過を想像すると、生育が早いソメイヨシノは昭和の終りごろには育成段階が終わり、平成はサクラ並木の維持段階であったものと思います。そして現在は、維持の目標から外れたサクラの生育状況や立地環境、サクラ並木に対する社会の要求や制限などにもとづいて、袋川緑地のサクラ並木のあり方を見直す段階にあると考えます。

3、袋川緑地サクラ並木に必要な管理計画

袋川緑地のサクラ並木が、これら3つの段階をどのように過ごして迎えようとしているかを考えます。まず、育成段階は、現在の主幹の太さや樹形から推測すると、適切な管理によってソメイヨシノとして標準的な生長があったものと思います。そのころにはすでに樹冠が連続していて、維持段階に移行しながら骨格樹形を完成させて、植樹間隔が狭いものは間引きを行うべき時期があったはずで、そして今は、袋川緑地のサクラ並木の今後について、50年先くらいまでを見通した管理の基本計画を作成し、同時に、3年間程度を目途として、喫緊の課題への対応を実施するべきだと思います。

4、袋川緑地サクラ並木の持つ喫緊の課題

(1) 目標樹形の設定と管理

剪定は、病虫害や生理的な原因で枯れた枝や通行や視界を障害する枝、越境や危険の発生が予測される枝に対して行います。これらのうち、病虫害や生理的な原因で枯れる枝以外は、計画的な剪定を行うことによって剪定痕を小さくすることが出来るので、切り口の癒合が早まることと併せて、木材腐朽菌の感染リスクが低減することが期待できます。そのためには、維持するべき樹形を設定し、設定から外れ始めた枝を早期に剪定して樹形を維持することが必要です。

(2) 補植

今の袋川緑地のサクラ並木が作られた目的が、日露戦争戦勝記念(1905年)等で植えられて鳥取大火で消失した「一里の桜土手」の再現であるならば、補植に用いる樹種はソメイヨシノになります。このような袋川緑地サクラ並木の存在理由に関わる事柄は、袋川緑地サクラ並木の歴史も含めて管理の基本計画に記述して守るべきだと思います。

(3) 袋川緑地サクラ並木のデータベース化

近年、多くの緑地において、植樹に関する様々な情報のデータベース化が進められています。デジタルデータベースがあると情報の蓄積と取り出しが容易になるので、デジタルデータベースが出来た後は、管理業務が効率化して管理品質は向上するはずで、

■ 7月3日メールにていただいたご意見

袋川の桜は毎年見に行きます。見事な桜を子ども達の世代に残してほしいです。最近、桜の枝を伐採してしまうことが多く湖山小学校の桜も美しさをなくしてしまいました。桜をきらないでほしいです。